

II 近代日本とアジア 5.第二次世界大戦

d、戦局の展開

日本の対米宣戦とともに、三国同盟によってドイツ・イタリアも[1 アメリカ]に宣戦、戦争は全世界に拡大した。アメリカ・イギリス・ソ連などは[2 連合]国、日本・[3 ドイツ]・イタリアなどは[4 枢軸]国とよばれた。

緒戦の日本軍は、米英両国の海軍に打撃をあたえ、開戦後から半年ほどの間に、イギリス領の[5 マレー]半島・シンガポール・香港・[6 ビルマ]、オランダ領東インド(現[7 インドネシア])、アメリカ領[8 フィリピン]など広大な地域を制圧した。日本は米英両国は中国に介入し東アジアの安定への努力をふみにじったばかりか、[9 経済断交]で日本の生存を脅かしたための[10 自存自営]の戦争と説明、さらに欧米の[11 植民地支配]からアジアを解放し、「[12 大東亜共栄圏]」建設をめざすと主張した。

これにたいし、アメリカの対応は早く、1942年6月、中部太平洋の[13 ミッドウェー]海戦での大敗北を転機として、海上・航空戦力で劣勢となり、日本側も戦略の再検討をせまられた。

- ① 1941年12月8日、陸軍の英領[14 マレー]半島のコタバル上陸と、海軍の[15 ハワイ真珠湾]攻撃
日本…アメリカ・イギリスに宣戦を布告
ドイツ・イタリア…アメリカに宣戦を布告(12/11)

- ② 日本軍の進出→東南アジア・オセアニアへ→オーストラリアとアメリカとの切断を図る

英領…香港・[16 マレー]半島・シンガポール・[17 ビルマ]

蘭領…東インド諸島(=[18 インドネシア])

米領…[19 フィリピン]

→さらにニューギニア島・ソロモン諸島などへ

- ③ 海軍[20 ミッドウェー]海戦で大敗(42/6)→連合艦隊の主力[21 航空母艦]と艦載機を失う
陸軍[22 ガダルカナル]島の戦いで敗れ撤退(43/2)

↓

しだいに[23 制海権][24 制空権]を失う→[25 絶対国防圏]の設定=防衛ラインの後退を決定

同年11月、東条内閣は、満州国・中国(南京)の汪兆銘政権・[26 タイ]・ビルマ・自由インド・フィリピンなどの代表者を東京に集めて[27 大東亜会議]をひらいた。日本軍は、欧米植民地からの[28 解放]軍として歓迎を受けることもあったが、その支配は、戦争遂行のための[29 資材]・労働力調達を最優先した。さらに[30 日本語学習]や[31 神社参拝]の強要、建設・土木作業、鉱山労働への[32 強制動員]もおこなわれた。また日本軍が多数の中国系住民を虐殺する事件も発生した。その結果、日本軍は東南アジア各地で組織的な[33 抗日]運動に直面するようになった。なお、こうした抗日運動が、戦後、植民地支配の再開を断念させ、自力での独立を実現させる基礎ともなった。

- ④ 東南アジア…日本、欧米諸国からのアジア解放を主張=[34 大東亜共栄圏]構想

→1943 大東亜会議開催

実際には、[35 資源の収奪]、そのための[36 労働者]の強制徴発をおこなう。

→日本の占領政策=軍政の実施、「日の丸」「君が代」強要、「昭南神社」参拝など

ア) マレー半島・シンガポール…[37 華僑]を4~5万人抗日の疑いで虐殺

イ) フィリピン…一般住民9万人を虐殺

ウ) 紙幣の代用品である[38 軍票]を発行し、物資を強制的に徴発→[39 インフレーション]発生

エ) ヴェトナム…国内での米不足を収奪→大飢饉の発生で多数の犠牲者をだす(100万を超える?)

オ) [40 泰緬] 鉄道建設で連合軍捕虜や現地住民を酷使、45000人の死者を出す

⑤ アジア民衆…当初は歓迎、しだいに反発、抵抗姿勢を強める([41 抗日運動]の発生)

ベトナム…[42 ホーチミン]らベトナム独立同盟(→フランスからの独立運動の中心に)

[43 フィリピン]…フクバラハップ(抗日人民軍)、マラヤ…抗日人民義勇軍

ビルマ(ミャンマ)…反ファシスト人民解放連盟([44 アウンサン]将軍ら)

インドネシア…[45 スカルノ]らインドネシア政治同盟→日本軍と結び、オランダからの独立を準備

中国では、[46 中国共産党]が農村地帯に[47 抗日根拠地]を組織して[48 ゲリラ]戦を展開、これにたいし、日本軍は大掃討作戦(中国側はこれを[49 三光]作戦とよんだ)を実施し、一般住民に多大の被害をあたえた。また[50 毒ガス]も使用され、毒ガスや[51 細菌]兵器の研究がおこなわれ、[52 731]部隊とよばれる細菌戦研究の特殊部隊では中国人やソ連人の[53 捕虜]を使った生体実験がおこなわれた。

また植民地とされていた[54 朝鮮]や台湾では、1938年に[55 志願兵]制度が導入されていたが、戦争が激化すると[56 徴兵]制も施行された。また、日本国内の労働力不足を解消するため、数十万人の朝鮮人や占領地域の[57 中国]人を日本本土などに[58 強制連行]し、鉱山や土木工事現場などで働かせた。さらに、また戦地には兵士の「慰安施設」がもつけられ、朝鮮・中国・フィリピンなどからも女性が集められた(いわゆる[59 従軍慰安婦])。

⑥ 中国での戦争の継続

ア) 毛沢東「[60 持久戦]論」発表→[61 中国共産党]指導の農村根拠地の組織と[62 ゲリラ]戦遂行
→戦局の[63 膠着]化(陸軍兵力の70%が中国にくぎづけ)＝日本軍は[64 点と線]支配に終始

↓

日本軍のゲリラ「大掃討作戦」＝[65 三光]「[66 焼き]つくす、[67 奪い]つくす、[68 殺し]つくす」作戦

[69 毒ガス]戦の実施

イ) 占領下の中国人[70 強制連行]→花岡事件、大江山ニッケル鉱山

ウ) ヘロインなど麻薬の販売

エ) 捕虜を用いての[71 生体実験]の実施など(関東軍731部隊)

⑦ 朝鮮(←[72 1910]年以来日本の植民地とされる)

ア) 「[73 皇民化]政策」の実施＝民族性抹殺政策

└─ [74 朝鮮語]使用禁止、神社参拝・皇居遙拝強制、教育勅語・皇国臣民の誓詞暗唱

└─ [75 創氏改名]＝日本名強制

イ) 特別志願兵制度(→1943徴兵令導入)、兵士・[76 軍属]などで戦地へ連れ出す

ウ) [77 強制連行]…大量の朝鮮人を本土に連行、鉱山や土木工事現場などで。過酷な条件で働かせる

[78 従軍慰安婦]…戦地で、兵士の性的な「慰安」のための「慰安所」で働かせる。

エ) 朝鮮民衆の抵抗運動

1936 満州[79 間島]地方を拠点に[80 抗日ゲリラ]戦を展開→中国軍やソ連軍との協力を中心に

金九ら[81 大韓民国臨時政府]を中国上海で結成→日本政府要人へのテロ活動など